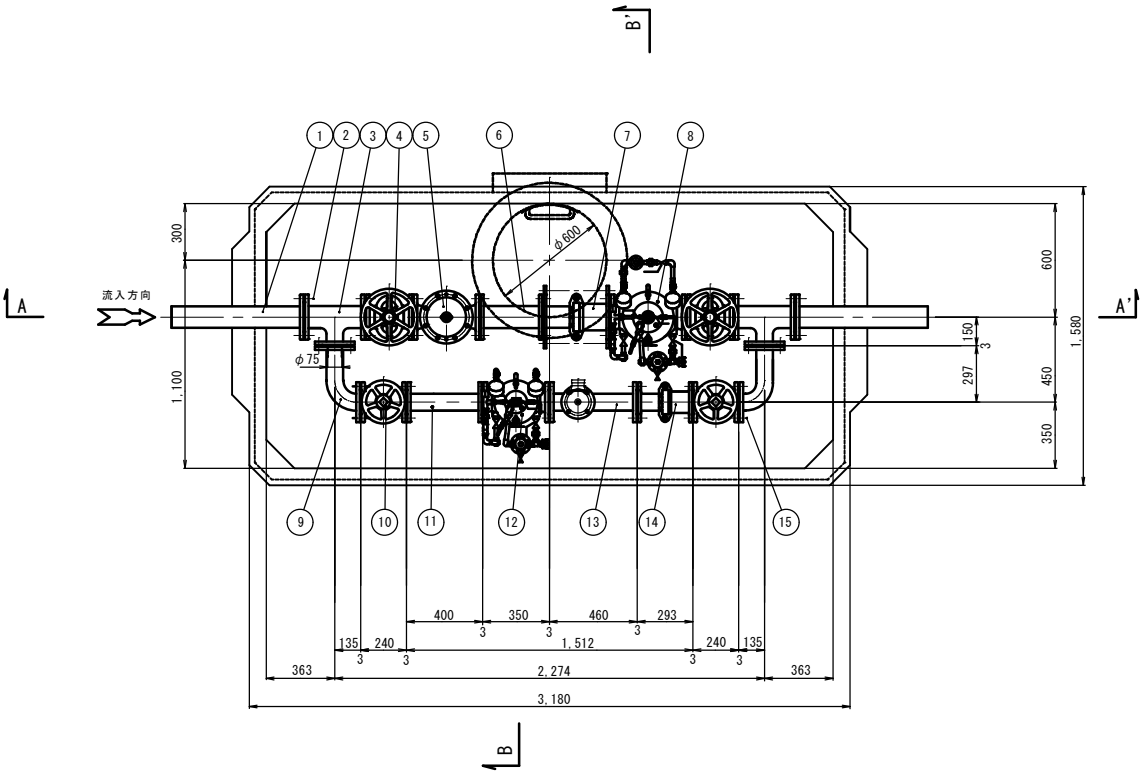
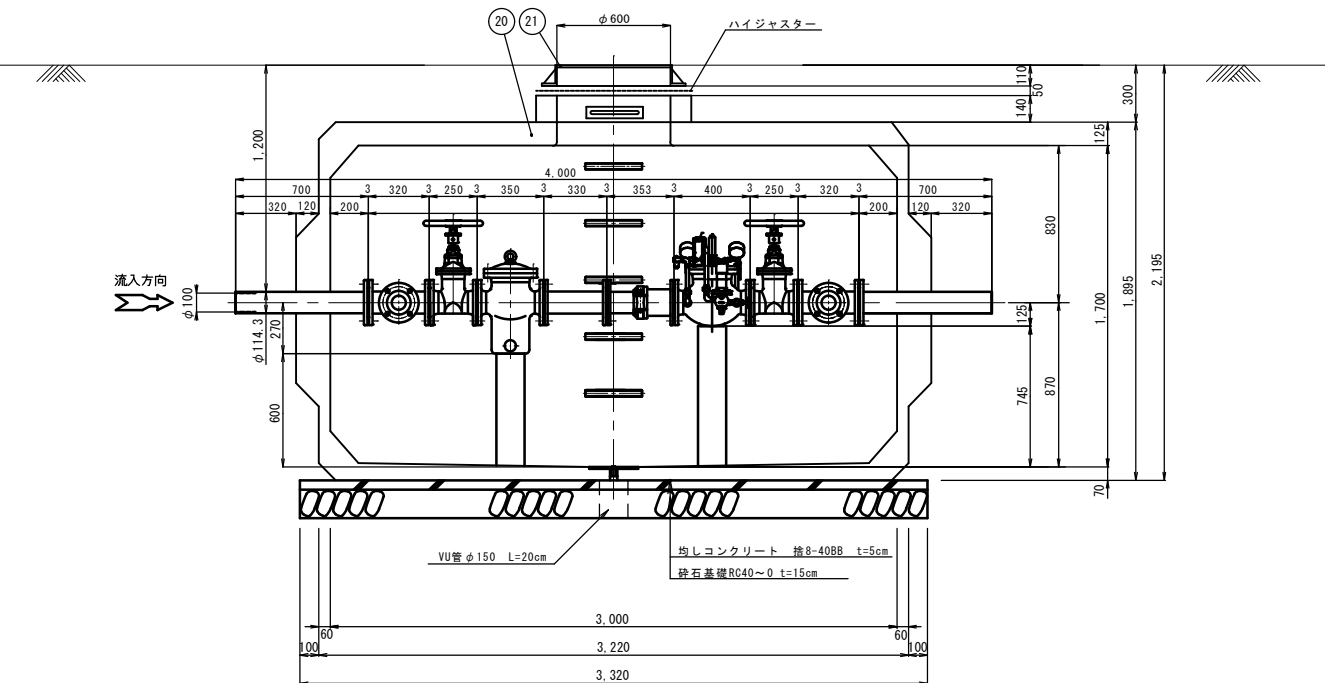


減圧弁室構造図

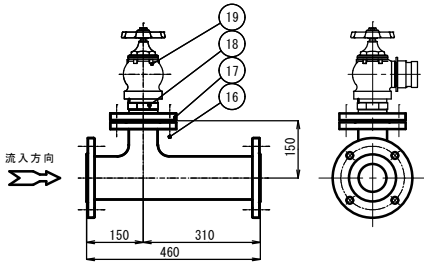
平面図 (1:20)



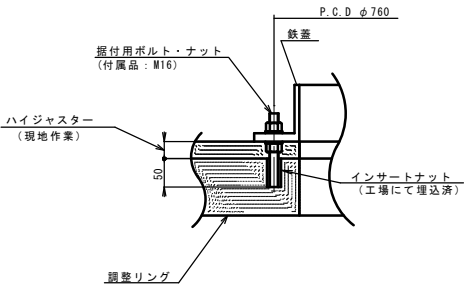
A-A'断面図 (1:20)



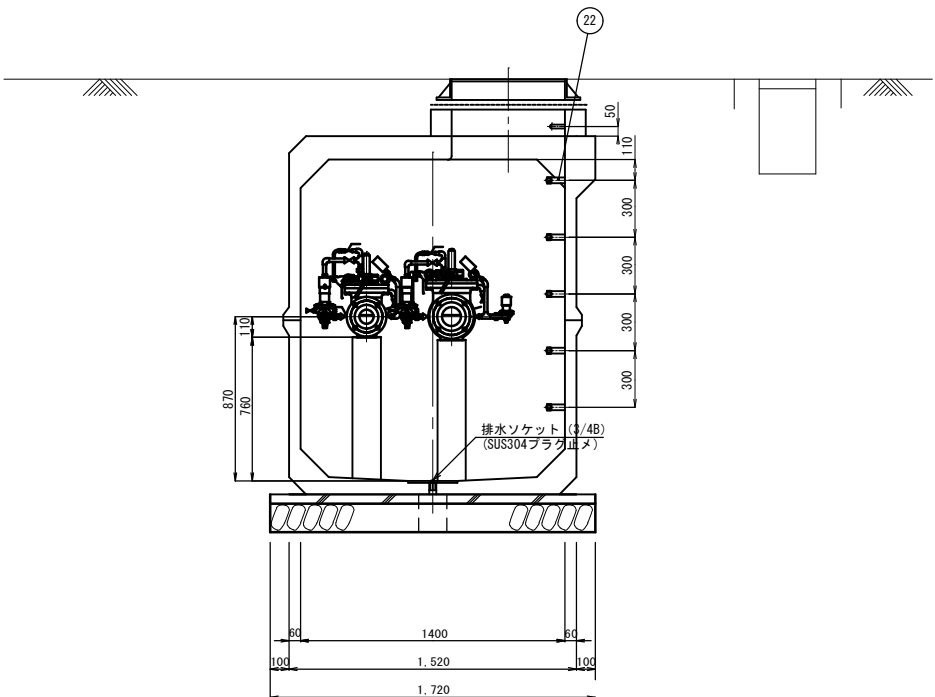
⑬ ミフランジT字管詳細図 (1:10)



鉄蓋据付(FREE)



B-B'断面図 (1:20)

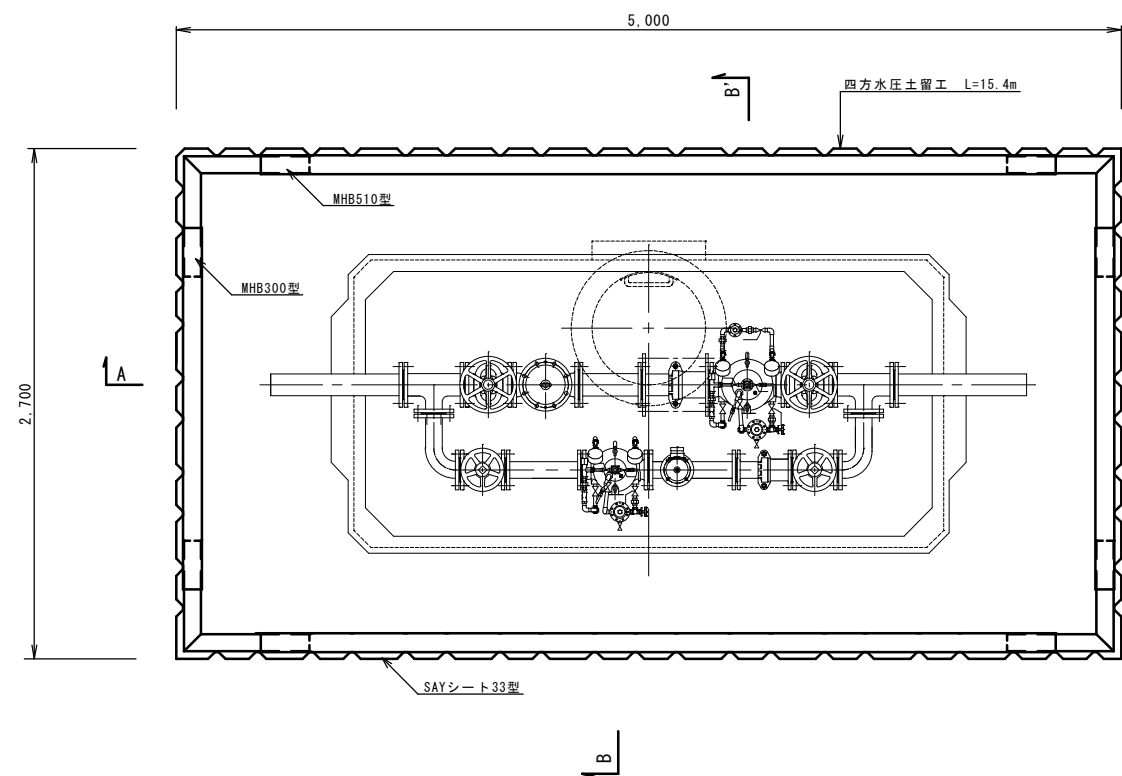


- (注) 1. 鉄蓋の据付は据付用ボルト・ナット (付属品) 3ヶ所で路面レベルに合わせ調整固定し、ハイジャスター打設を行ってください。
2. 基礎工は通常、砂利または砕石基礎工を、地盤の悪い場所では、コンクリート基礎工を行ってください。
3. 配管のレベルは、水平に設置ください。
4. ハイレジコンピットはT-25荷重設計とする。

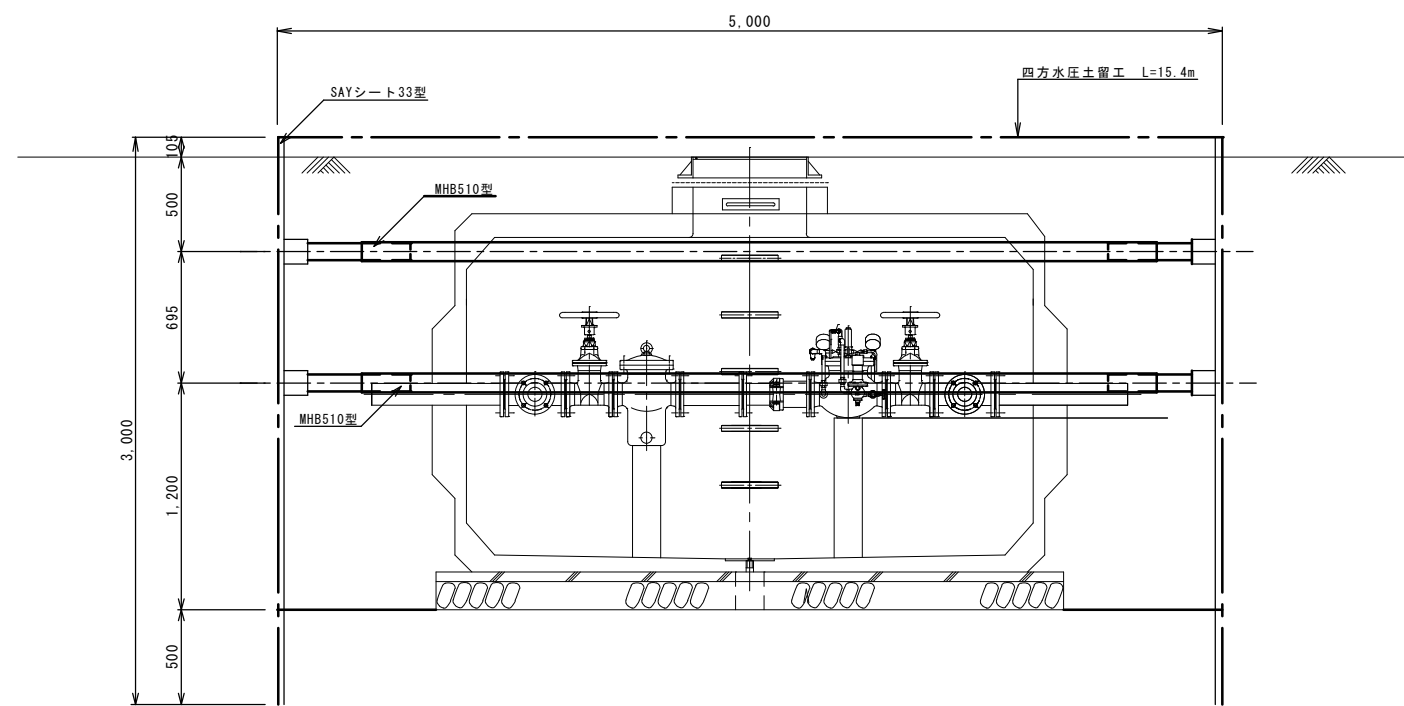
22	ステップ		1式	
21	鉄蓋	FCD	1	
20	レジンマンホール		1	HS-4特形
19	消火栓弁		1	φ85 ねじ込み式
18	ニップル	SUS304	1	φ65
17	ねじ込フランジ	SUS304	1	φ65, 10K
16	フランジ接合品	SUS304	1組	φ65用, 10K
15	フランジ接合品	SUS304	9組	φ75用
14	伸縮管	SGP+SS400	1	φ100用, φ75 φ100付
13	ミフランジT字管	SGP+SS400	1	φ100用, φ75 φ100付
12	減圧弁	FCD450-10	1	φ75
11	面フランジ短管	SGP+SS400	1	φ100用, φ75
10	ソフトシール仕切弁	FCD450-10	2	φ75
9	フランジ曲管	SGP+SS400	2	φ100用, φ75
8	減圧弁	FCD450-10	1	φ100用, φ75 φ100付
7	伸縮管	SGP+SS400	1	φ100用, φ100
6	面フランジ短管	SGP+SS400	1	φ100用, φ100
5	ストレーナー	FCD450-10	1	φ100
4	ソフトシール仕切弁	FCD450-10	2	φ100
3	ミフランジT字管	SGP+SS400	2	φ100用, φ75 φ100付
2	フランジ接合品	SUS304	9組	φ100用
1	片フランジ短管	SGP+SS400	2	φ100用, φ100
部番 NO.	部品名称 PART NAME	材質 MATERIAL	個数 Q'TY	備考 REMARKS

減圧弁室土留図

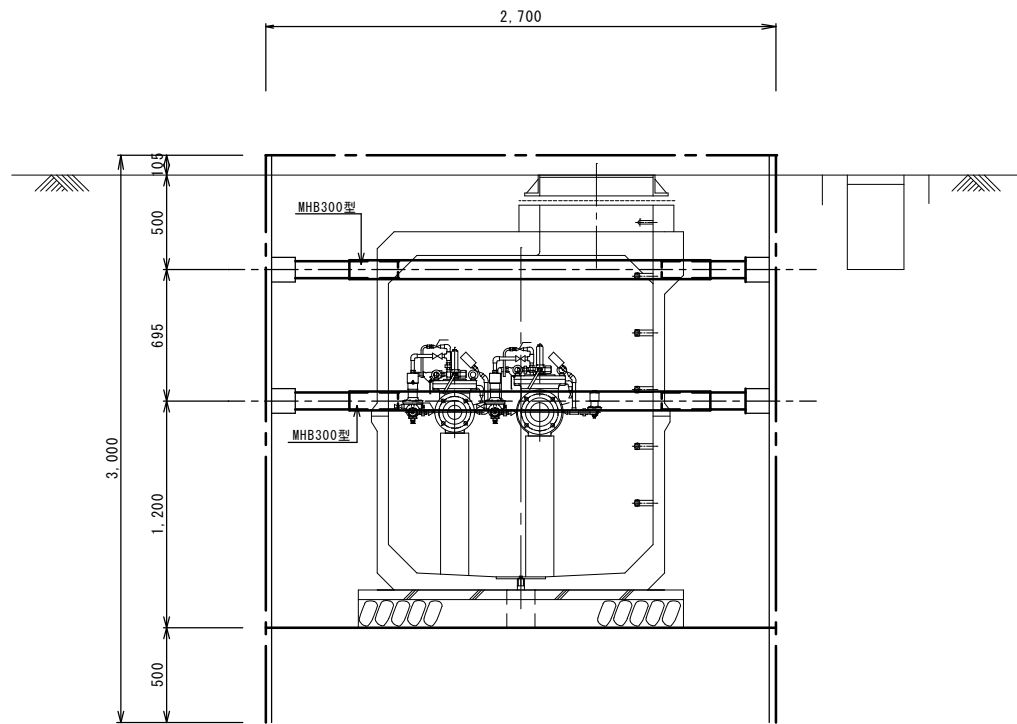
平面図 (1:20)



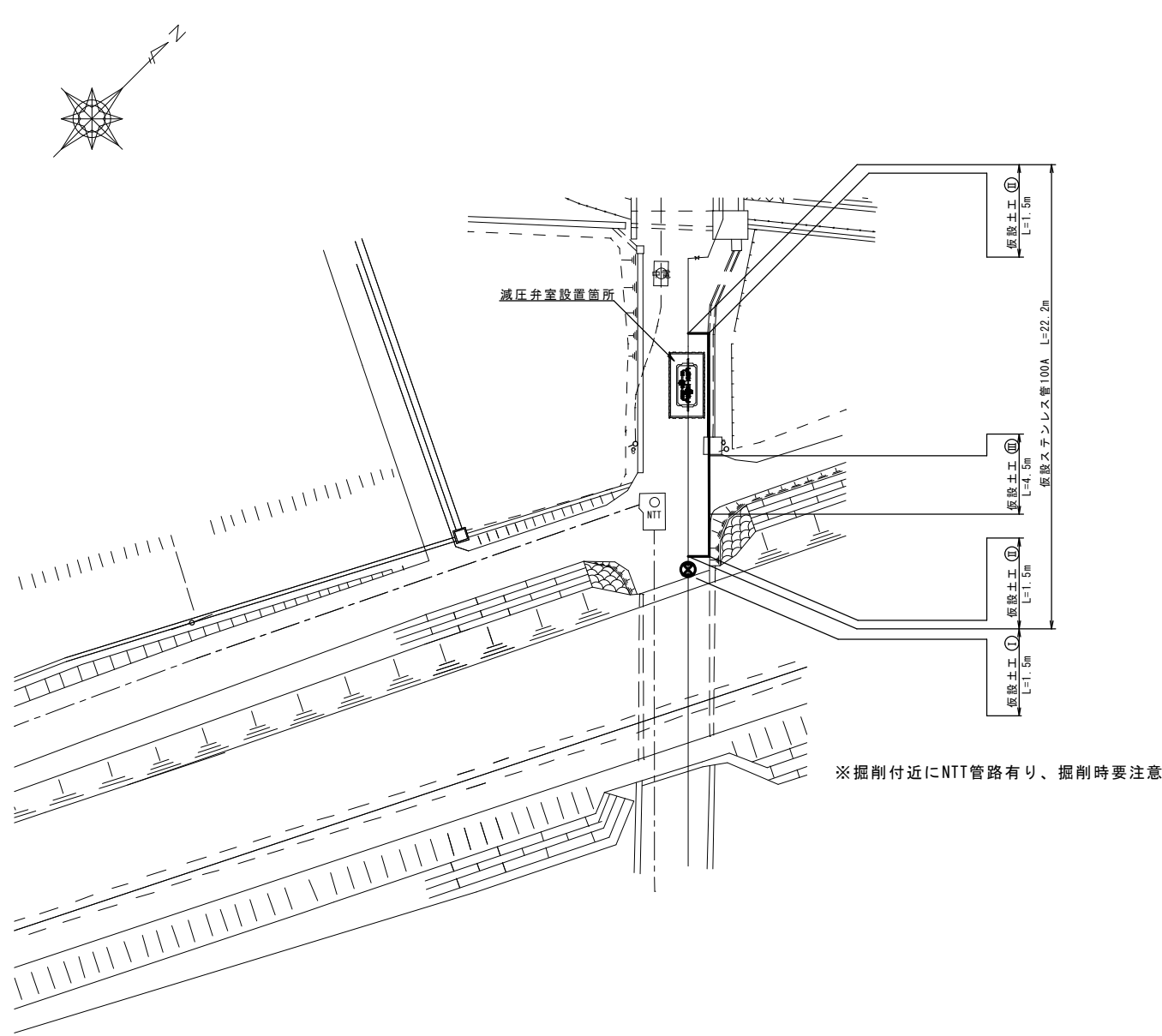
A-A'断面図 (1:20)



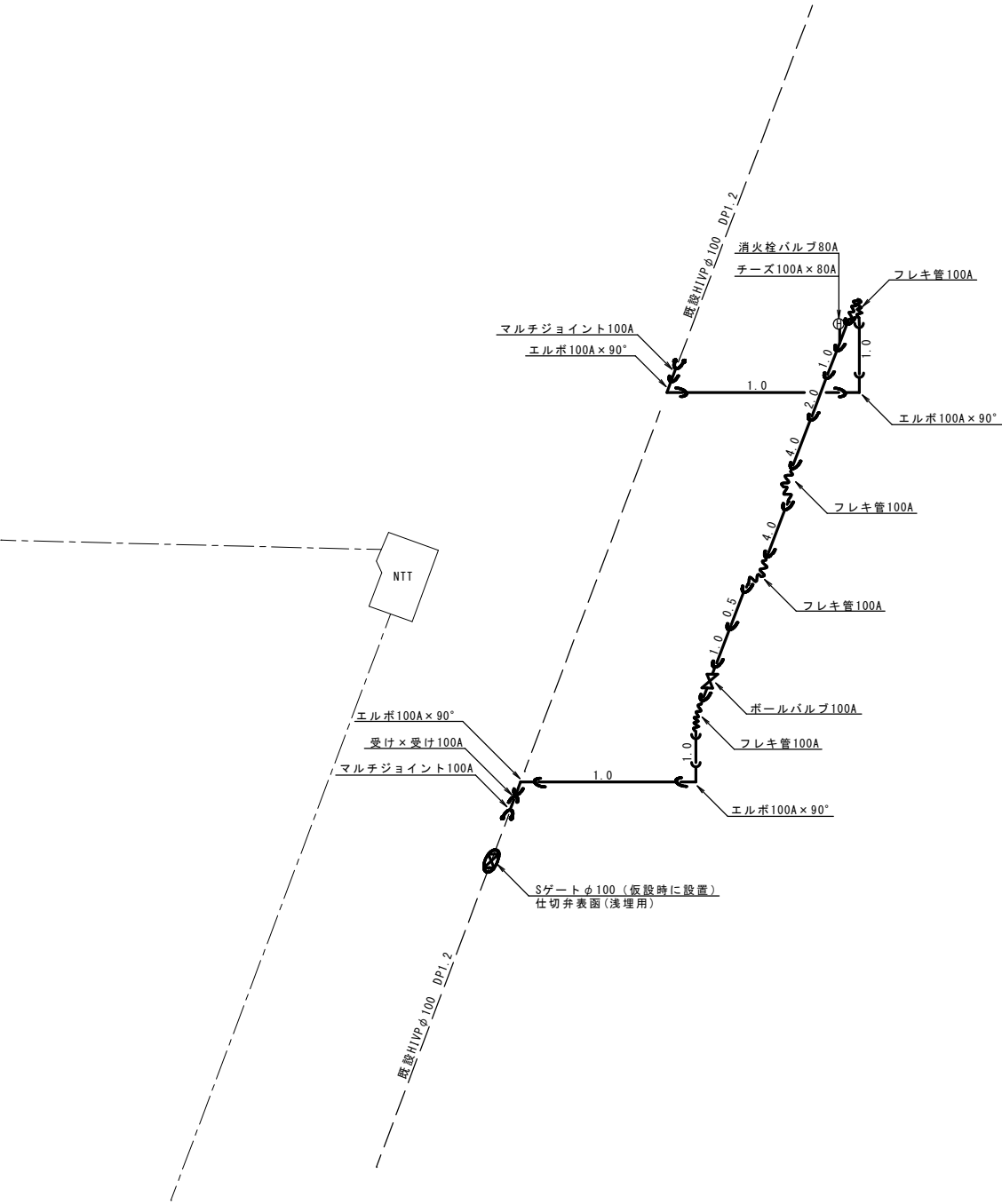
B-B'断面図 (1:20)



仮配管平面図
S=1 : 250



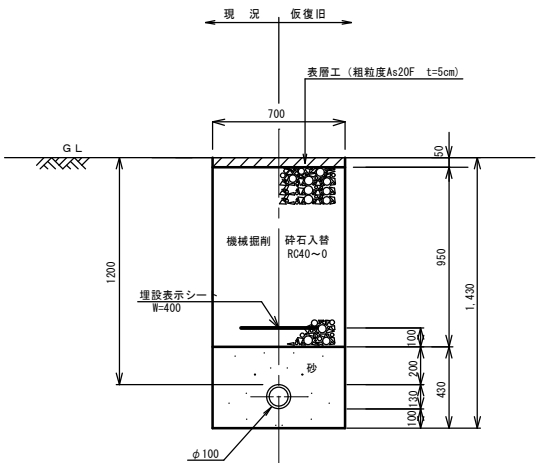
仮配管詳細図
S=FREE



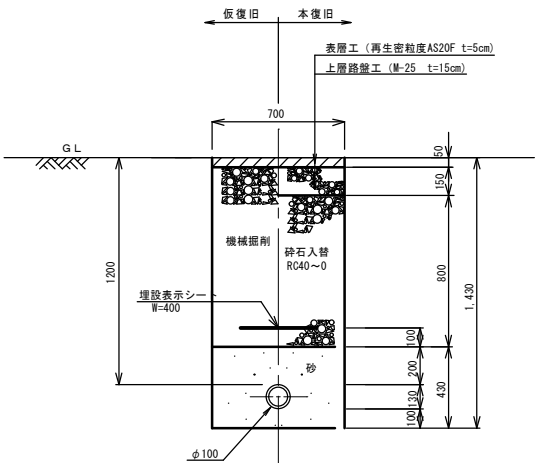
標準掘削断面図

S=1:20

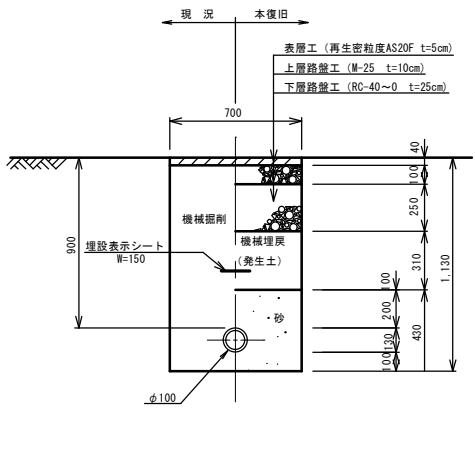
① 県道アスファルト舗装（仮復旧）



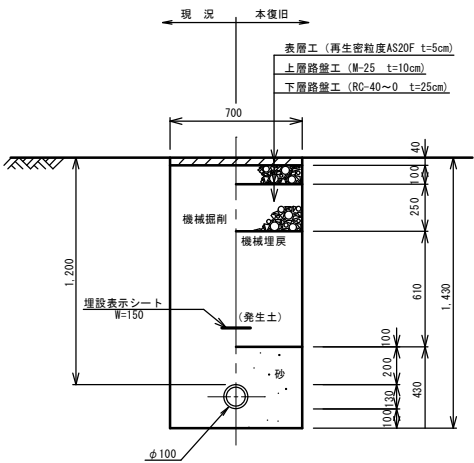
② 県道アスファルト舗装（本復旧）



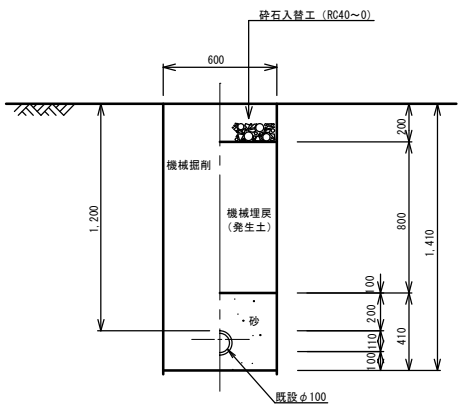
③ 町道アスファルト舗装



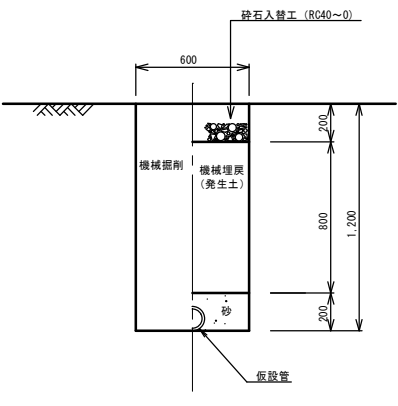
④ 町道アスファルト舗装



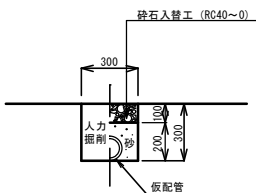
Ⅰ 仮設土工（不断水）



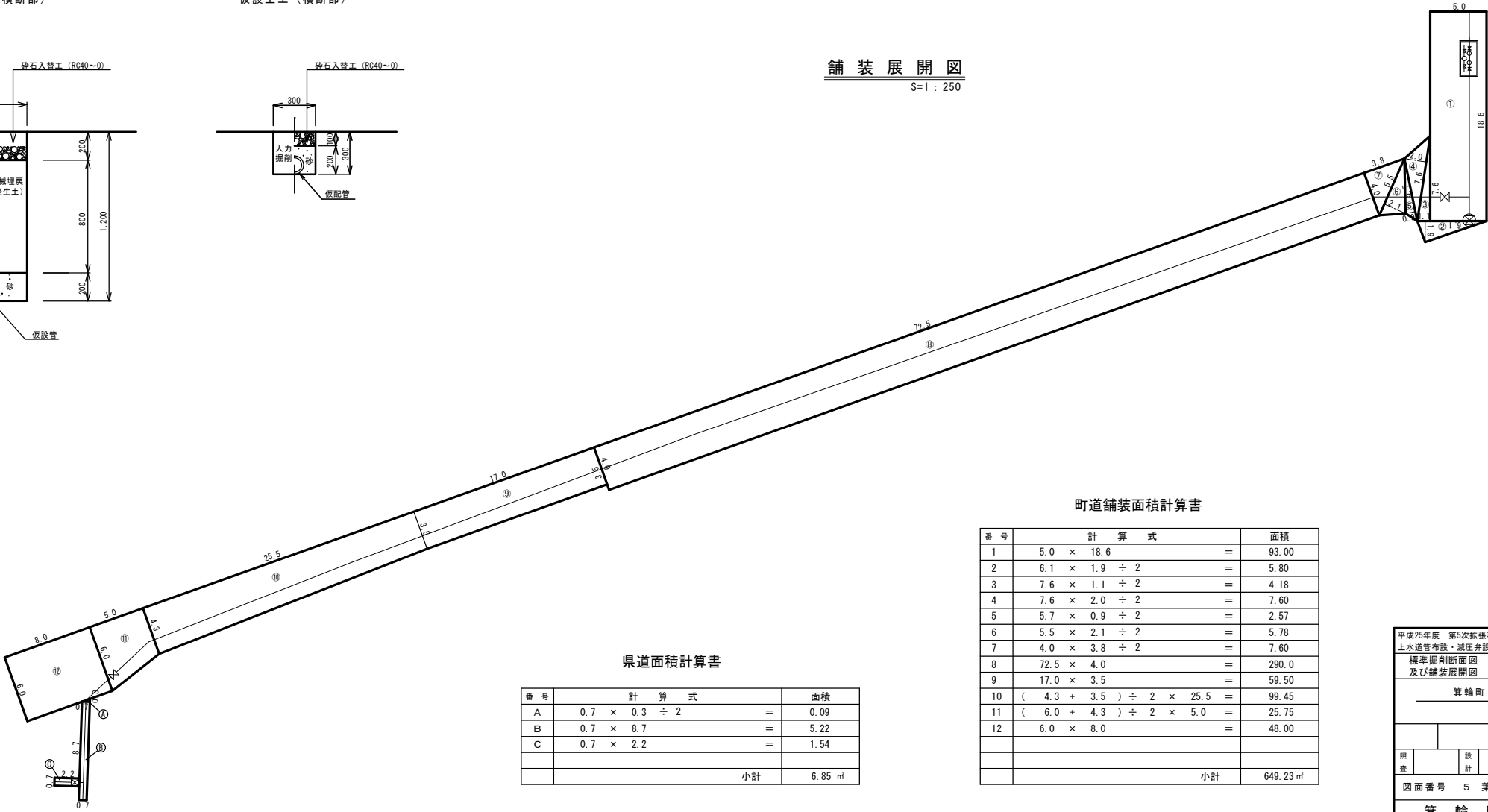
Ⅱ 仮設土工（横断部）



Ⅲ 仮設土工（横断部）



舗装展開図
S=1:250



県道面積計算書

番号	計算式	面積
A	$0.7 \times 0.3 \div 2$	= 0.09
B	0.7×8.7	= 5.22
C	0.7×2.2	= 1.54
小計		6.85 m ²

町道舗装面積計算書

番号	計算式	面積
1	5.0×18.6	= 93.00
2	$6.1 \times 1.9 \div 2$	= 5.80
3	$7.6 \times 1.1 \div 2$	= 4.18
4	$7.6 \times 2.0 \div 2$	= 7.60
5	$5.7 \times 0.9 \div 2$	= 2.57
6	$5.5 \times 2.1 \div 2$	= 5.78
7	$4.0 \times 3.8 \div 2$	= 7.60
8	72.5×4.0	= 290.0
9	17.0×3.5	= 59.50
10	$(4.3 + 3.5) \div 2 \times 25.5$	= 99.45
11	$(6.0 + 4.3) \div 2 \times 5.0$	= 25.75
12	6.0×8.0	= 48.00
小計		649.23 m ²